

幼児教育研修（年齢別担任研修4歳児 第2回） 受講者数 72名

日時 令和4年10月21日（金） 15:00～17:00

場所 足立区生涯学習センター

講師 和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平 氏

【内 容】～子どもの発達と保育者の関わりについて～

「誰かと一緒に遊ぶ方が楽しい」「楽しいから一緒にいたい」という子どもの思いをつなげ、響き合うことを支える環境作りや共感的に子どもを見守る援助が大切です。実際の保育の様子をビデオ視聴し、4歳児の発達や保育者の関わりについて学びを深めます。



【受講者の感想】

* 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- ・子どもが今、何を考え何をしようとしているのか、何をおもしろがっているのか、子どもの気持ちに寄り添えるよう対話を深めていきたい。
- ・4歳児の自己抑制と自己中心性の葛藤の姿を理解した上で、子どもの意欲が高まる接し方を心掛けていく。
- ・子どもの目線、手に取りやすさの視点から、保育室の環境を見直し改善していく。
- ・「やってみたい」「楽しそう」「明日も遊びたい」という気持ちをもてる、心が動く環境作りを心掛ける。
- ・一緒に遊んだり活動に参加したりしていなくても、その子どもなりに「周りで見ている」という関わりをしているため、保育者は過度な声かけや仲介をしないように、周りの状況や動きを見ることが大切。
- ・個々が際立っているからこそ、集団の良さが生まれるということを学んだ。個々の良さが十分に引き出されるように、一人一人の思いや好きなことに寄り添い受け止めていきたい。
- ・保育は、子ども理解が基盤であることを再認識した。受容的、共感的な関わりを大事にしたい。